

# 04

## アレルギーを含む食品 (総論・牛乳・小麦) のファクトシートを公開しました



食物アレルギーは、日頃からしっかり対策する必要があり、正確な情報を得ることが大切です。食品安全委員会は「アレルギーを含む食品」を自らの判断で行う食品健康影響評価の対象とし、2021年6月に「卵」についての評価書をまとめています。2024年はアレルギーを含む食品の「総論」のほか、「牛乳」、「小麦」のファクトシートを公表しました

### 「アレルギーを含む食品」に対する食品安全委員会の取組の経緯

2016年3月、食品安全委員会は「アレルギーを含む食品」を自らの判断で行う食品健康影響評価の対象とし、アレルギーを含む旨の表示(食物アレルギー表示)制度の妥当性について科学的な検証を行うこととしました。そして、2021年6月に特定原材料(アレルギーを引き起こすことが明らかな食品のうち、食品表示基準に定めるところにより表示しなければならないもの)の一つである「卵」について評価結果を公表しました。「現在の食物アレルギー表示制度は「卵」についてはおおむね妥当である」との判断です。「卵」以外の特定原材料については、科学的な評価を行うための情報が十分でなく、健康影響評価を行うことが困難であったため、国内外の最新情報や研究結果等を集約したファクトシートを作成することとしていました。

その後、最新情報及び研究結果等をまとめ、「アレルギーを含む食品」のファクトシートのうち、総論、牛乳、小麦を公表しました。

### 食物アレルギーとは

食物アレルギーは、特定の食物を食べて免疫反応が過敏に働いてしまう結果、体にアレルギー反応が引き起こされる現象のことで、蕁麻疹やかゆみ、咳などを発症し、時にはアナフィラキシーという重い症状が出ることがあるため注意が必要です。

食物アレルギーを引き起こす原因(抗原)をアレルギーといい、大部分は食品に含まれるタンパク質で、特定の部位に対しIgE抗体が結合しアレルギー反応が引き起こされます。

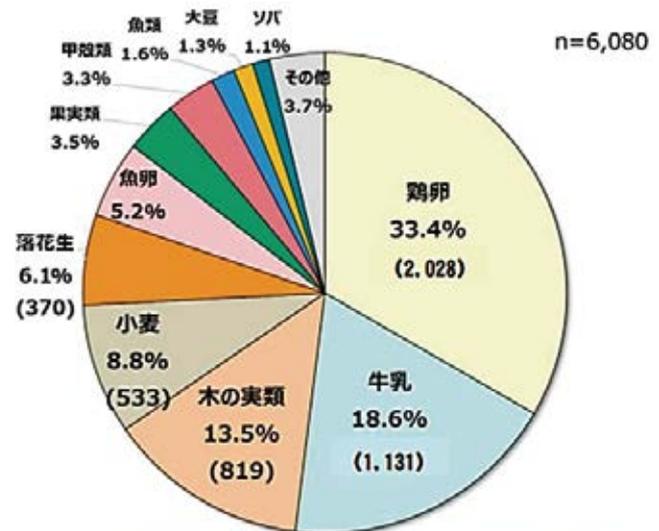
図2 食物アレルギーの表示対象

|                               |       |     |     |     |      |         |         |     |    |    |    |    |    |     |    |          |    |      |     |      |
|-------------------------------|-------|-----|-----|-----|------|---------|---------|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----------|----|------|-----|------|
| 特定原材料<br>(8品目)<br>表示義務        | えび    | かに  | くるみ | 小麦  | ソバ   | 卵       | 乳       | 落花生 |    |    |    |    |    |     |    |          |    |      |     |      |
| 特定原材料に準ずるもの<br>(20品目)<br>表示推奨 | アーモンド | あわび | いか  | いくら | オレンジ | カシューナッツ | キウイフルーツ | 牛肉  | ごま | さけ | さば | 大豆 | 鶏肉 | バナナ | 豚肉 | マカダミアナッツ | もも | やまいも | りんご | ゼラチン |

(2024年3月末時点)

2020年に実施された消費者庁の「令和3年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書」における「即時型食物アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」によると、図1のとおり、即時型食物アレルギーの原因食物上位3位は、鶏卵、牛乳、木の実類でした。

図1 即時型食物アレルギーの原因食物



消費者庁の調査研究事業報告書(2022年)から図を転載

### リスク管理の取組例(食物アレルギーの表示)

食物アレルギー患者の健康危害の発生防止の観点から2001年に食品衛生法(昭和22年法律第233号)に基づくアレルギー物質を含む食品表示制度が創設され、現在は食品表示法(平成25年法律第70号)において表示が義務付けられています。現在、法令上表示を義務付けるもの(特定原材料)及び表示を推奨するもの(特定原材料に準ずるもの)は図2のとおりです。